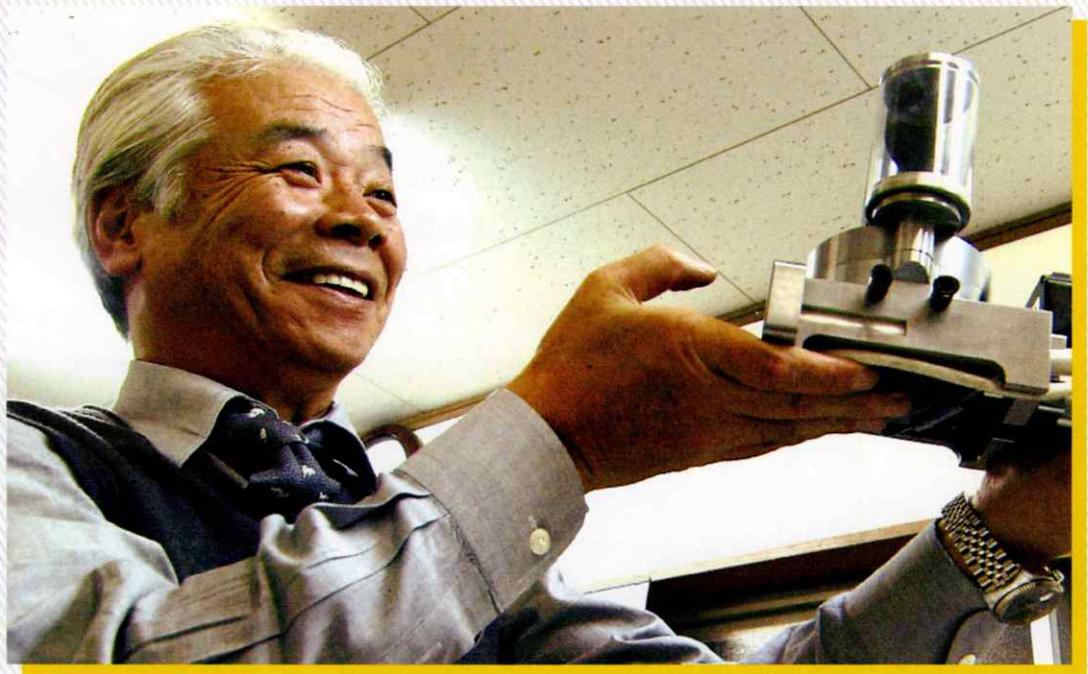


NHK大学セミナー in 松山大学

プロフェッショナルからのメッセージ

「独創力が未来をつくる」



日時 平成26年6月25日(水)
開場／正午 開演／午後0時30分
終演／午後2時(予定)

会場 松山大学文京キャンパス2号館 223番教室

講師 たけ うち ひろし
竹内 宏 (町工場経営者・「新興セルビック」代表取締役)

〈進行〉山本 隆之 (NHKエンタープライズ プロデューサー)

主催／**NHK**松山放送局、松山大学

竹内 宏 たけうち ひろし

(町工場経営者・「新興セルビック」代表取締役)
※2011年12月19日放送「プロフェッショナル仕事の流儀」出演

1946年 神奈川県出身
14歳より金型製造に関わる

1974年 父親と共に有限会社新興金型を設立
プラザ合意を機に「受注企業」から
「開発型企业」へ変換

1985年 開発子会社「株式会社新興セルビック」を設立
ものづくりの現場を経験する事で生まれる“ア
イデア”で、独創的な新製品・新工法を提案
現在に至る



“発信する”町工場

先が見えない不況の中で、苦戦を強いられている日本のものづくりの現場。

そんな中で竹内が目指しているのが、「発信する町工場」という姿だ。従業員10名程度の小さな工場ながら、大手メーカーからの下請け仕事に頼らず、独自製品を開発・発信することにこだわっている。

竹内の工場は、元来、プラスチック部品を成形するのに必要な「金型」を作るのが本業だ。金型工場の多くは、大手メーカーからのオーダーを受けて金型を納めている。だが、竹内の工場は違う。独自のアイデアで大胆に改良した金型を考案し、メーカーに逆提案している。その上、17年もの歳月をかけて、加工機械までも独力で考案した。

「超小型射出成形機」と呼ばれるその装置は、世界最小クラス。それまで工場の巨大なラインが必要だったプラスチック成形を、卓上で行うことを可能にし、業界のどきもを抜いた。

ものづくりに打ち込んできた経験と知恵を生かせば、町工場ほど独自開発に向いている業態はないと竹内は言い切る。自ら発想して製品企画を立て、予算をつぎ込み、オリジナルの商品を開発、それを大手メーカーに売り込むことで、新たな市場を開拓していく、それが竹内の目指す姿だ。

プロフェッショナルとは…

媚びないこと、群れないこと、属さないこと、それと、やめないこと、これができる。
やめない、あきらめない、これができる方ではないかなと思っています。